



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第6号

2023年8月23日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

8月23日(水)の様子

8月23日(水)、今日は生路小学校の補充学習会、片葩小学校のわくわく算数教室に行きました。

生路小学校

生路小学校には二人のSPさんが来てくれました。最初は緊張していた二人ですが、30分も経たないうちに周りの様子を見て動いてくれました。担当の児童に寄り添う声かけと笑顔が素敵でした。各学校の補充学習会で、多くのSPさんが活動しています。他のSPさんの様子もぜひ見てみてください。自分とは違う視点や引き出しに気づくことができると思います。特に、ウィークリーSPとして定期的に活動しているSPさんの動きや声かけは別格です。



片葩小学校

「わくわく算数教室」3日目。朝から急な雷雨でした。子どもの欠席、そして電車の遅延によるSPさんの遅れで朝からバタバタしていました。学校現場でもこうした“予測不能の事態”は起きます。今日活動してくれたSPさん、素晴らしかったです。急な変更に変更が重なっても、今までの算数教室の様子や周りの様子を見て臨機応変に対応してくれました。こうした臨機応変に動くことができるのも、教師に必要な資質の一つではないかと思います。今日はまさしく“SPさんのおかげで”、算数教室が予定通り行うことができたと思います。ありがとうございました。



←朝から雨の中、一生懸命登校して来た子どもたち。SPさんに笑顔で迎えられた瞬間、ホッと顔が綻びます。「来てよかったな。」そう思えるのはSPさんの力です。